



谷藤EYE通信

医療法人泰明会 谷藤眼科医院 盛岡市前九年二丁目2-38
URL <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tanieye/>

平成18年(2006年)
7月・8月・9月号

No.20

Tel : 019-646-2227

Fax : 019-645-3811

患者さんで構いませんか

院長 谷藤 泰寛

病院内でお呼びするのに、患者様か、患者さんかどちらが適切かが、また最近新聞のコラムに載った。結局、お店やホテルの中での場合のように、何々様と呼ばれて違和感がないかという、病院や医院内で様付けで呼ばれることに違和感を覚える方が圧倒的に多いようである。

どうしてこんなことになったか、眼科学会関連の講習会で日本航空のシュワーデスさんなどを講師にお願いして接客教育などが盛んにおこなわれた時期があったことを思い出した。10年以上も前のあの当時、日航は優良会社でそのイメージが良かったためであろうかと考えても見たが、ヨーロッパの学会に参加する際に利用する欧州系の航空会社のいわゆる応対と比較して格段に気持ちが良いと感じたことはなく、むしろ個人名をメモ見ながら何々様呼ばわれたりするの、わざとらしくて感じが良くない印象を抱いたことがある。先のコラムの結論は、要するに表面的な表現の仕方ではなく、院内では丁寧な診察と説明をおこなうことが基本であり、できれば一人一人の患者さんに十分な時間を割くことが重要という結論であったように思う。

しかし今の日本の医療の現実、簡単ではない。世界の先進国にして、一番の長寿国家ではあるが、医療費の国際比較では先進国中最低にもかかわらず、自己負担は毎年増加傾向となっており、外国の10倍以上もの患者さんを診察しないと医療が成り立たない現状は当分変わりそうもない。

少子高齢化が一層進む今日、重大な経済スキャンダルといえる村上ファンドに関連するような企業のオーナーが医療をはじめ、国家の重要課題決定に関する諮問会議の長を務めている政治の動向に危機感を抱いている識者は医療界以外にも多いはずである。



日々暑くなってきた今日この頃、私も盛岡に就任して早くも5度目の夏を迎えました。すっかり東北の気候にもなれ、ニュースで見る関東地域の気温とはうらはら、元々暑がりな私にとって本当に毎日快適な日々を過ごしております。

さて熱くなる(?)といえはご存知の通り今年ワールドカップの年でもあり、ましてや本県出身の小笠原選手が出場していることもあり、サッカーが大変盛り上がりしております。地元盛岡には「グルージャ盛岡」のクラブチームまであり、いまやサッカー人気は大人だけに限らず小さな子供達にまで浸透しています。

実はサッカー人口の増加に伴い、それによる眼外傷も増加傾向となっております。サッカーはバスケットと同様、球技競技であると同時に、身体的接触をとるような接触競技でもあります。ましてサッカーボールは蹴り上げられるために、特にスピードがあがり、重篤な外傷を被ることがあります。ある調べでは、サッカーでの眼外傷の発生頻度は、野球の2倍以上とも言われています。

具体的には、眼瞼傷害(裂傷や切傷など)、角膜傷害(びらんや裂傷など)、外眼部傷害(眼球結膜下出血や外眼筋麻痺)、前眼部傷害

(前房出血や虹彩炎)、網膜傷害(網膜出血や網膜振盪症、網膜剥離など)、視神経損傷、眼窩底骨折などさまざまな症状があります。

その中でも、サッカーでは角膜びらんや眼球結膜下出血、網膜出血や網膜振盪症が多くみられます。

では、もしそのような現場に遭遇した場合、どう対処すべきでしょうか?

その場合、受傷眼を動かしたり、圧迫したりしない、つまり眼をこすったり、洗ったり(石灰が入った場合は重篤な薬傷となる場合があるため直ちに流水で洗眼する場合がある)、コンタクトレンズを外すことも避けることが肝心です。そして、病状の悪化を防ぐ(受傷眼の動きを止める)ために眼帯(緩めに)をして、近くの救急へ受診してください。これらの適切な処置によって、受診時病状は全く異なることがあります。

スポーツには怪我がつきものです。とくに激しいスポーツであるサッカーではアイガードの使用が困難である以上、正しい技術の習得とラフプレーや故意のファールをしないようルールを遵守することが予防の第一と考えます。

新人看護師さん紹介

さやか
佐々木涼香

今まで内科に勤務していました。眼科での勤務は初めてなので、期待と不安な気持ちでいっぱいです。色々とお迷惑をおかけする事があるかと思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



めくみ
佐々木恵

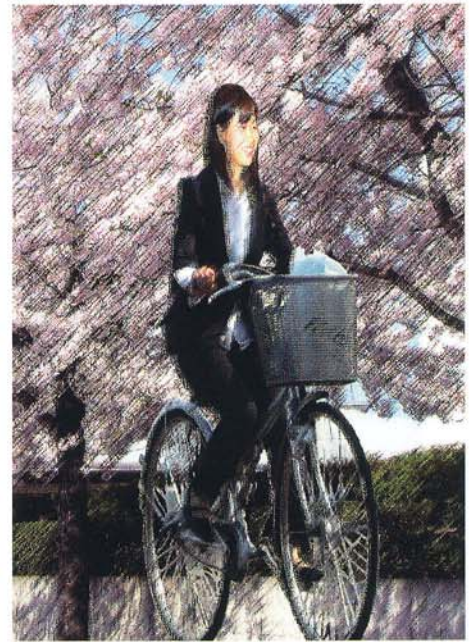
4月から勤務させて頂いています佐々木恵です。眼科経験は全くありませんので、0からのスタートだと思っています。患者様の看護を行う上で、

1. 明るく
2. 笑顔で
3. 向上心を忘れず

をモットーに業務に携わっていき、より活気のある医院になるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

朝の通勤で

看護師 佐藤 幸子



自転車の通勤も気持ちのいい季節になってきました。朝の時間というと、何か気持ちが慌ただしくバタバタしがちで、何回時計を見ているのだろうと、時間を気にしながら自転車をこぐ毎日です。

桜が咲いた頃、通勤の途中で少し時間があつたので、職場近くの公園に寄った事がありました。近場なのに今までなかなか行くきっかけがなく、自転車で一周しただけでしたが、朝から花見気分を味わえていつもよりテンションが上がりました。

慌ただしく過ぎていく日々の中でも、息抜きできる時間と場所を自分なりに見つけて気分転換したいと思いました。また、このように気持ちの余裕を持ちたいなと感じるこの頃です。

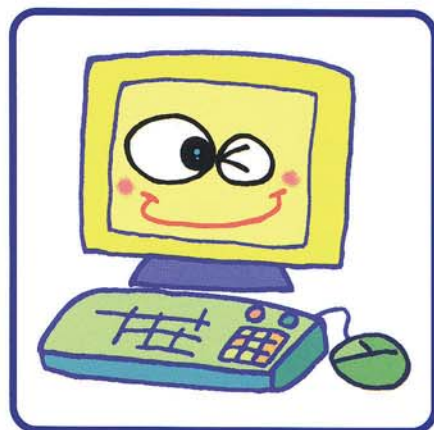


VDT症候群をご存知ですか？

視能訓練士 三浦早弥香

VDT症候群とは、パソコン、ワープロ、テレビゲームなどの端末で使われるVDT (Visual Display Terminal) を用いた長時間作業により、眼・体・心などに影響のする病気で、別名テクノストレス眼症とも呼ばれます。現代の新しい病気とされ、オフィスでのパソコンなどの普及によって増加しています。

眼の症状としては、視線がディスプレイ、キーボードなどを集中して見続けるため眼が酷使され、まばたきの回数が1/4に減り、涙の分泌が減るために起こるドライアイと呼ばれる眼の乾きや、充血、痛み、異物感、視力の低下、眼のかすみなどが発症します。眼球の表面が乾いて角膜に傷がつき、充血や不快感が続き、感染症の危険も高まります。また、長時間作業による眼精疲労が起こります。そして、長時間同じ姿勢をとり続けるので、肩こり、首、肩、腕などの痛みがでてきます。これらの症状を放置すると自律神経が乱れ、イライラ、不安感、抑うつ状態、睡眠障害などが起こってしまいます。



このようなことを防ぐためには、VDTを使った作業を行う際、適正な姿勢、適度な休憩・運動・体操などで眼や体の緊張をほぐすことを心がけましょう。またVDT症候群とドライアイは互いに症状を悪化させあうので、意識的にまばたきをする・加湿器を置く・涙の代わりになる目薬を使う。パソコンに向かう時は、コンタクトレンズ(以下CL)をしないなどの対処法で眼の乾燥を防いでください。

また、度が合っていない眼鏡やCLは眼の疲労を進めます。眼鏡やCLを使用している人は度数が合っているかきちんと確認し、自身のライフスタイルや用途に合わせて選ぶ事が大切です。



受付事務主任 香森 眞理子

トリノオリンピックの開会式で、パヴァロッティのテノールをテレビで聴いたとたん思い出した事がありました。

美術展の帰り、友人と入ったイタリアンレストランでの事。白とトルコブルーで統一された洞窟のような店内は、土曜の早い夕食時なのに、既に満席。私達は広く大きな流水形のカウンターに案内されました。中央ではエレクトーンのライブ！静かにイタリア民謡が流れていました。入り口から3人の大きな身体で、いかにもイタリアからの観光客風の方々が入ってきました。テーブル席がないため、私達と同じカウンターに座り、間もなくワイングラスを前に明るく談笑。店内はおいしい香りに包まれ、みんな幸せそうでした。しばらくすると、その中の1人がエレクトーンに合わせて静かに歌いだしました。すると2人目、3人目と次々に加わり、あっという間に素晴らしいテノールの合唱です。最初皆驚いて目を見張っていましたが、あまりにもステキな歌声に圧倒され、いつのまにか全員カウンターの方を向いて聴き入っていました。お店はさながらミニコンサートホールです。ナイフやフォークの音はすっかり消え去り、空気は彼らの歌声で震えていました。そして満場の拍手！本当に素晴らしいひとときでした。

先回上京した折、懐かしくなり銀座服部から日本橋に向かう途中にあった店を尋ねてみると、既に店はなく幻のレストランになってしまいました。けれど3人の明るく大らかな歌声は今も鮮やかに耳元に聴こえてきます。心に届いた歌声は一生消えないのかもしれない。

お知らせ

- 7月1日(土) 第23回いわてORTの会勉強会
- 7月14日(金)～15日(土) 第44回北日本眼科学会(秋田市)；院長出席予定
- 7月22日(土) 第312回岩手眼科集談会
- 8月5日(土) 平成18年度日本眼科医会第3回理事会；院長出席予定
- 8月13日(日)～16日(水) お盆休み予定
- 9月9日(土)～13日(水) 第24回欧州白内障・屈折手術会議(ESCRS)
開催国；英国(ロンドン)；院長出席予定

報 告

- 4月1日 看護師 佐々木恵入社
- 4月21日 看護師 佐々木涼香入社
- 4月22日(土) 第311回岩手眼科集談会；院長・副院長(姜)・谷藤はる香・三浦早弥香出席
- 5月20日(土) 第28回眼科メディカル試験；佐々木淳子・相内有沙受験
- 6月3日(土) 第22回岩手眼科臨床懇話会；院長・副院長(姜)・藤村・谷藤はる香
小野陽子・佐々木恵出席
- 6月16日(金)～18日(日) 第45回日本白内障学会・
第21回日本眼内レンズ屈折手術学会(東京国際フォーラム)；院長出席